

# 2008

## 第3回 NPO夏の北海道セミナー

美術館のつくり方  
～ヤマを掘るまちから心を彫るまちへ～

共催団体：日本 NPO 学会・文化経済学会〈日本〉

・NPO 法人アルテピアッツァびばい

日時：2008年7月4日(金) 12:00-22:00

会場：アルテピアッツァ美唄 (北海道美唄市)

妙夢(ブロンズ) 安田侃

©Photograph by Naoto Yamauchi

★日本 NPO 学会

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/>

E-Mail JANPORA@ml.osipp.osaka-u.ac.jp

★文化経済学会<日本>

<http://www.jace.gr.jp/index.html>

E-Mail info@jace.gr.jp

★NPO 法人アルテピアッツァびばい

<http://www.kan-yasuda.co.jp/arte.html>

E-Mail arte@fancy.ocn.ne.jp

~~~~~ ♪ ♪ プログラム ♪ ♪ ~~~~~

2008年7月4日（金）

12:00 千歳集合組、千歳空港を貸切バスで出発

12:40 札幌集合組、地下鉄大谷地駅にて千歳からの参加者と合流  
※車内にて昼食

14:00-15:45 「炭山（ヤマ）の碑」（安田侃作）、「炭鉱メモリアル公園」（三菱美唄炭鉱跡地）、「アルテピアッツァ美唄」訪問

16:00-16:10 **主催者挨拶**

山内直人（日本NPO学会会長）

伏島信治（文化経済学会札幌大会事務局・同大会シンポジウムコーディネーター）

磯田憲一（アルテピアッツァびばい理事長）

16:10-17:00 **基調講演**

講師：安田侃

「時に触れ、場を感じ、自分に還る：アルテピアッツァ美唄」

講師：スティーブ・ジョンソン

「アートによる地域づくり戦略」

17:00-18:45 **パネルディスカッション**

「美術館のつくり方～ヤマを掘るまちから心を彫るまちへ」

[パネリスト]

安田侃（彫刻家）

スティーブ・ジョンソン（米国ポートランド州立大学兼任教授）

濱田暁生（アルテピアッツァびばい理事）

板東知文（美唄市総務部長）

[モデレータ]

菅野幸子（国際交流基金情報センタープログラムコーディネーター）

19:00-20:15 レセプション@アルテカフェ（夕食）

20:30-22:00 貸切バスにてアルテピアッツァ美唄を出发

22:00 札幌市時計台近くで解散

緊急連絡先：実行委員会携帯電話 090-6475-9115



## 講師



### 安田 侃(やすだ かん)

#### 彫刻家

略歴：1945年北海道美唄市生まれ。東京芸術大学大学院彫刻科修了。1970年イタリア政府招聘留学生として渡伊。ローマ・アカデミア美術学校でペリクレ・ファッツィーニ氏に師事。以降、大理石の産地として知られるトスカーナのピエトラサンタにアトリエを構え、大理石とブロンズによる彫刻の創作活動を続けている。ミラノ、フィレンツェ、ローマなどイタリアの各地で野外彫刻展を開催。1991年以来、故郷美唄の小学校跡地再生プロジェクト：アルテピアッツァ美唄を手がける。洞爺湖畔、札幌駅、東京国際フォーラム、東京ミッドタウン、トラヤヌス帝の市場（ローマ）、ボーボリ庭園（フィレンツェ）、パルコ・ソラーリ（ミラノ）などに作品設置。



### スティーブ・ジョンソン (Steve Johnson)

#### 米国ポートランド州立大学兼任教授

略歴：1945年米国オレゴン州ポートランド生まれ。ポートランド州立大学都市研究プランニング学部博士課程修了。1970年-1980年代を通じて環境NPO活動にたずさわり、環境と調和したオルタナティブ技術を推進した。とくに環境誌『レイン』の発刊とその編集長としての活動（74-84年）は有名。NPOのコンピュータ利用支援での実績の他、地元・ジョンソン・クリーク水系の環境保護、市民参加型の計画手法の開発に成果をあげた。現在、同大の都市研究学部、公共管理学部などで教鞭をとる。

## パネリスト

### 濱田 暁生 (はまだあきお)

#### (株)シー・アイ・エス計画研究所 代表取締役会長/NPO 法人アルテピアッツァびばい理事

略歴：1943年旧満州国撫順市生まれ。北海道大学大学院工学研究科建築計画修士課程修了。東海大学札幌校舎建築学科講師を経て、1970年建築設計事務所(株)アトリエブंक設立。1989年(株)シー・アイ・エス計画研究所設立。地域のまちづくり現場における実践活動を通して蓄積されたノウハウと人材・情報のネットワークを活用して「住民と行政」、「都市と農村」、「ハードウェアとソフトウェア」をつなぐ媒介的コーディネーターとして活躍中。北海道地域づくりアドバイザー、北海道景観審議会委員、羊蹄山麓広域景観づくり検討委員会総括コーディネーター、千歳市都市経営会議ファシリテーター、北海道地域文化選奨選考委員会委員長等を歴任。



### 板東 知文 (ばんどうともふみ)

#### 美唄市 総務部長

略歴：1952年12月 美唄市生まれ。明治大学政治経済学部政治学科卒業後、美唄市役所に勤務。総務部企画開発室東京事務所主査、企画財政部企画課主幹、財政課長、保健福祉部長などを歴任ののち2004年より現職。東京事務所時代の美唄市開基100年事業の際に安田侃氏との交流が始まり、その後永年にわたって市の公共事業としてのアルテピアッツァ美唄の整備を行政内部で調整・バックアップする役割を担って来た。



## モデレータ



### 菅野 幸子 (かんのさちこ)

#### 国際交流基金情報センター プログラム・コーディネーター

略歴：宮城県生まれ。ブリティッシュ・カウンシル東京勤務後、1991年、グラスゴー大学美術史学部装飾芸術コースディプロマ課程修了。1993年より国際交流基金(The Japan Foundation)に勤務。現在は、文化交流に関するさまざまな情報の提供、各種コンサルテーションを行っている。また、文化交流政策、文化政策、文化による都市再生など多岐の分野にわたり、調査研究を行うとともに、シンポジウムやセミナーの企画運営に携わる。現在、東京大学文化資源学研究文化経営学コース修士課程に在籍。



#### 謝辞

このたび、第3回の「NPO夏の北海道セミナー」を美唄市で開催するにあたっては、共同開催団体である「文化経済学会<日本>」および「NPO法人アルテピアッツァびばい」をはじめとする様々な市民団体やボランティアの皆様の温かいご支援、ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。とりわけ、「NPO法人アルテピアッツァびばい」の理事・スタッフの皆様の受け入れがなければ、このセミナーの開催は不可能でした。

また、突然の依頼にも関わらず、イタリア在住で世界的なアーティストとして活躍中の安田侃氏と、米国ポートランド州立大学兼任教授として多忙な日々を送られているスティーブ・ジョンソン氏の基調講演が実現しましたのも、濱田暁生 NPO法人アルテピアッツァびばい理事をはじめとした、幾人かの方々のご助言とお声かけあつてのことでした。また、レセプションの準備等で、地元・美唄市市民のみならず並びに美唄市役所有志の方々のご協力をいただきました。加えて、同時通訳として参加いただいたグラデュウス・マルチリンガルサービス株式会社様のご理解とご協力により、安価かつ質の高い講演が実現いたしました。ここに深く感謝申し上げます。

セミナーのパネリストとしてご登壇をお願いした皆様には、セミナー運営に物心両面でのお力添えをいただき、誠に有難うございました。

最後になりましたが、伊東奈美さん、松島みどりさんをはじめとする「文化経済学会<日本>」「NPO法人アルテピアッツァびばい」「日本NPO学会」合同の事務局スタッフがセミナー開催のため昼夜を問わない働きぶりを発揮してくれました。この場を借りてその労をねぎらいたいと思います。

2008年7月4日

日本NPO学会会長

山内直人

日本NPO学会理事/セミナー実行責任者 樽見弘紀